

中標津町長の西村です。

町民の皆さまには、国の緊急事態宣言に基づく行動制限にご協力をいただき、大変ありがとうございます。

さて、5月31日までとして北海道全域に発令されました国の緊急事態宣言ですが、感染拡大に歯止めがかからない状況から、6月20日まで延長される見通しとなりました。

正式には、この後、菅総理や鈴木知事が発表することになりますが、緊急事態宣言が延長された場合には、中標津町としても、現在行っている対策を延長せざるを得ないものと判断しました。

公共施設の休館の延長についてですが、現在休館している施設については、緊急事態宣言の延長期間中は、引き続き休館とします。

ただし、6月から開催される中体連の大会参加に向けて使用する施設については、大会の日程を考慮し、感染状況を見ながらとはなりますが、中学生の部活動に限定して使用を再開する予定でいます。

このほか、施設の休館は根室管内4町で足並みを揃えようと協議をしたところ  
です。  
具体的な休館や再開の予定については、町のホームページなどでお知らせします。

次に、町立中標津病院の状況ですが、現在、入院患者は2名います。  
このうち、1名は酸素投与が必要な中等症の患者となっています。

一時期、8人いた入院患者ですが、徐々に減少してきていますが、市立根室病院の院内クラスターをはじめ、根室管内では連日、陽性患者が発生しています。

現在、根室管内で新型コロナの入院患者を受け入れられるのは、市立根室病院、町立中標津病院、町立別海病院となっています。  
いずれも専用病床数が少ないため、集団的に患者が発生すると、すぐ満床状態となってしまいます。

全道的に医療がひっ迫する中、地域の患者は地域で治療できるよう、町立中標津病院では、6月1日から、専用病床を10床から16床に増やし、受け入れ態勢を強化します。

次に、ワクチンの接種状況です。

5月24日から始まった65歳以上の方のワクチン接種ですが、町が接種券を発送した65歳以上の方、6000人の85%に当たる5100の方が予約をされ、今日現在で、約1900の方が1回目の接種を終えました。

このまま順調に接種が進むと、6月中には65歳以上の希望する方への2回目の接種は、おおむね終わる見込みとなりました。

その後は、国からのワクチン供給状況にもよりますが、基礎疾患をお持ちの方、次に16歳以上の全ての方へと順次進めていく予定となっています。町から接種券が届くまで、今しばらくお待ちいただきたいと思います。

緊急事態宣言の内容が明らかになりましたら、町のホームページなどでお知らせします。

収束の見通しが立たず、度重なる対策の延長に危機感が薄れていく心配もあります。引き続きマスク・手洗い・3密を避けるなど、家庭、職場での確実な感染防止対策の実行をお願いします。

もう一つ、引き続きのお願いです。

飲食店は時短要請を受け大変な状況にあります。

町内にはデリバリーやテイクアウトなどを行っているお店がたくさんあります。

みなさん、スマホをお持ちだと思いますが、

町のホームページの中に、コロナウイルス感染のお知らせのページがあります。

そこをクリックしていただくと、コロナ感染の（お知らせページの）中に入っていきますので、さらにそれをすすめると、テイクアウトのページがあります。

さらにクリックしますと、このように町のなかで、テイクアウト、デリバリーを行っているお店の様子が出てきます。40件ほどありますので、ぜひ多くの方にご利用をお願いします。

これからも、動画配信を通じて、私からメッセージを発信し、町民の皆さまと力を合わせ感染拡大防止に取り組んでまいります。

町民の皆さまのご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

令和3年5月28日  
中標津町長 西村 穰